

8.7. 自然との触れ合いの場

8.7.1. 現況調査

(1) 調査内容

自然との触れ合いの場の調査内容は、表 8.7-1 に示すとおりである。

自然との触れ合いの場の調査は、「触れ合いの場の分布」、「利用状況」、「触れ合いの場の特性」について実施した。

表 8.7-1 調査内容（自然との触れ合いの場）

項目	調査内容
自然との触れ合いの場	触れ合いの場の分布 利用状況 触れ合いの場の特性

(2) 調査方法

ア 既存資料調査

自然との触れ合いの場の既存資料調査における調査方法は、表 8.7-2 に示すとおりである。

表 8.7-2 調査方法（自然との触れ合いの場：既存資料調査）

調査内容	調査方法
触れ合いの場の分布	調査方法は、「仙台市公園・緑地等配置図」（平成 29 年、仙台市）及び「杜の都 わがまち緑の名所 100 選」（平成 30 年、仙台市）などの既存資料から把握するものとした。
利用状況	
触れ合いの場の特性	調査方法は、地形・地質、植物、動物等の既存資料調査結果の整理とした。

イ 現地調査

自然との触れ合いの場の現地調査における調査方法は、表 8.7-3 に示すとおりである。

表 8.7-3 調査方法（自然との触れ合いの場：現地調査）

調査内容	調査方法
触れ合いの場の分布	調査方法は、現地踏査により自然との触れ合いの場としての利用範囲を把握するものとした。
利用状況	調査方法は、現地踏査により調査地点における利用者数、利用者の属性、利用内容、利用範囲または場所、利用の多い場所等を把握するものとした。
触れ合いの場の特性	調査方法は、現地踏査により触れ合い活動に利用されている場の構成要素の内容、特性を把握するものとした。

(3) 調査地域及び調査地点

ア 既存資料調査

調査地域は、「6.地域の概況」の調査範囲とする。

調査地点は、「6.地域の概況 6.1 自然的状況 6.1.5 景観等 (2)自然との触れ合いの場」に示す調査地点とする。

イ 現地調査

自然との触れ合いの場の現地調査における調査地域及び調査地点は、表 8.7-4 及び図 8.7-1 に示すとおりである。

自然との触れ合いの場の現地調査における調査地域は、計画地及びその周辺において、自然との触れ合いの場に対する影響が想定される計画地より 500m の範囲とした。

資材等の運搬に係る調査地点は、工事用車両や供用後の関連車両の主な走行ルートを踏まえ、調査範囲の中で触れ合いの場に対する影響が想定される 1 地点(鶴ヶ谷中央公園)とした。

重機の稼働に係る調査地点は、重機の稼働範囲を踏まえ、調査範囲の中で触れ合いの場に対する影響が想定される 3 地点(鶴ヶ谷中央公園、鶴ヶ谷六丁目公園、鶴ヶ谷東二丁目公園)とした。

表 8.7-4 調査地点(自然との触れ合いの場：現地調査)

地点番号	調査地点	環境影響要因		計画地からの距離
		資材等の運搬	重機の稼働	
	鶴ヶ谷中央公園	○	○	隣接地
	鶴ヶ谷六丁目公園		○	隣接地
	鶴ヶ谷東二丁目公園		○	隣接地

(4) 調査期間等

ア 既存資料調査

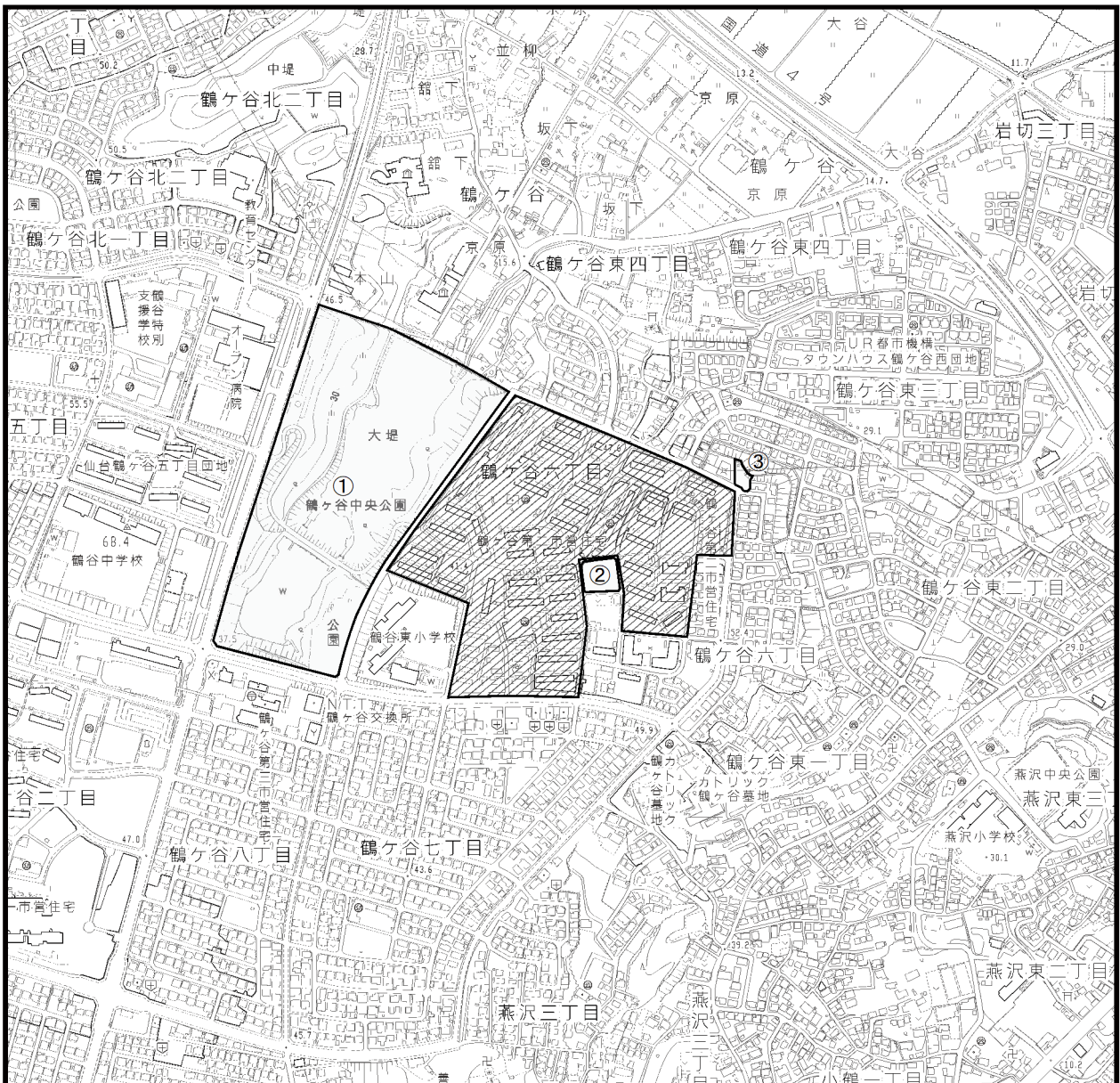
自然との触れ合いの場の既存資料調査における調査期間は、設定しないものとした。

イ 現地調査


自然との触れ合いの場の現地調査における調査期間等は、表 8.7-5 に示すとおりである。


表 8.7-5 調査期間等(自然との触れ合いの場：現地調査)

地点番号	調査地点	調査期間等	調査時間
	鶴ヶ谷中央公園	夏季：令和元年 8 月 24 日(土)	7:00 ~ 17:00
	鶴ヶ谷六丁目公園	秋季：令和元年 11 月 8 日(金)	
	鶴ヶ谷東二丁目公園	冬季：令和 2 年 2 月 21 日(金)	
		春季：令和 2 年 5 月 24 日(木)	



凡 例

 : 計画地

 : 自然との触れ合いの場調査地点

① 鶴ヶ谷中央公園

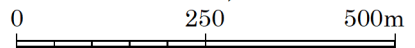
② 鶴ヶ谷六丁目公園

③ 鶴ヶ谷東二丁目公園

図 8.7-1 自然との触れ合いの場調査地点
(現地調査)



S=1:10,000



(5) 調査結果

ア 既存資料調査

自然との触れ合いの場の分布

計画地周辺における触れ合いの場の分布は、「6.地域の概況 6.1 自然的状況 6.1.5 景観等及び自然との触れ合いの場の状況」に示すとおりである。

自然との触れ合いの場の特性

計画地周辺における触れ合いの場の特性は、「6.地域の概況 6.1 自然的状況 6.1.3 土壌環境」、「6.地域の概況 6.1 自然的状況 6.1.4 生物環境」及び「6.地域の概況 6.1 自然的状況 6.1.5 景観等及び自然との触れ合いの場の状況」に示すとおりである。

イ 現地調査

自然との触れ合いの場の分布及び特性

a) 鶴ヶ谷中央公園

鶴ヶ谷中央公園における自然との触れ合いの場の状況は、写真 8.7-1 に示すとおりである。

鶴ヶ谷中央公園は、2つの溜池を中心に整備された地区公園である。公園の北西部と南東部には遊具等の施設が集まったエリアがあり、両エリアは溜池の間を通る園路で繋がっている。

仙台オープン病院に隣接した北西エリアには、水飲み場、遊具や健康器具のほか、砂場、ベンチ等が整備されている。北西エリアの中央部には小規模な樹林があり、藤棚が整備されているなど、緑の多い空間となっている。鶴ヶ谷東小学校に隣接した南東エリアには、遊具や健康器具、水飲み場、ベンチ、トイレ等が整備されているほか、ボール遊び等ができる広場がある。公園の中央西部には、トイレやベンチが整備された小規模の広場がある。北東エリアには平坦なスペースがあり、その一部に駐車場と園路が整備されている。

公園内には様々な樹木が植栽されており、鳥類のほかセミやトンボ等の昆虫類の生息の場として機能している。溜池には、冬が近づくとハクチョウやカモ類といった水鳥が越冬のために飛来するほか、鶴ヶ谷東小学校等により植えられたイトザクラやネムノキ等が見られるなど、触れ合いの場を構成する主要な要素が集まっている。

	
記念碑（さくら 100 本）	トイレ
	
水飲み場	遊具（すべり台：ワイド）

写真 8.7-1(1) 触れ合いの場の状況（鶴ヶ谷中央公園）



遊具（ブランコ）



遊具（鉄棒）



遊具（雲梯）



遊具（健康器具）



遊具（その他：吊り輪等）



砂場



ベンチ



藤棚

写真 8.7-1(2) 触れ合いの場の状況（鶴ヶ谷中央公園）



凡例





-  : 計画地
-  : 調査地点 (鶴ヶ谷中央公園)
- : 主な施設
 - ① 記念碑
 - ② トイレ
 - ③ 水飲み場
 - ④ 遊具 (すべり台)
 - ⑤ 遊具 (ブランコ)
 - ⑥ 遊具 (鉄棒)
 - ⑦ 遊具 (雲梯)
 - ⑧ 遊具 (健康器具・その他)
 - ⑨ 砂場
- ◇ : ベンチ
-  : 藤棚 (ベンチ)
-  : 駐車場

図 8.7-2 触れ合いの場の分布(鶴ヶ谷中央公園)



S=1:5,000
0 100 200m

b) 鶴ヶ谷六丁目公園

鶴ヶ谷六丁目公園は、計画地の中心南側に位置する街区公園である。公園には、水飲み場やすべり台やブランコ等の遊具、ベンチが整備されている。

公園の縁辺には樹木が植栽されており、ヒヨドリやカラス等の鳥類、夏にはセミが生息の場として利用している。草地には、モンシロチョウやジャノメチョウ、アキアカネ等の市街地等に生息するチョウ類やトンボ類が多く見られる。



水飲み場



複合遊具



遊具(すべり台)



遊具(ブランコ)

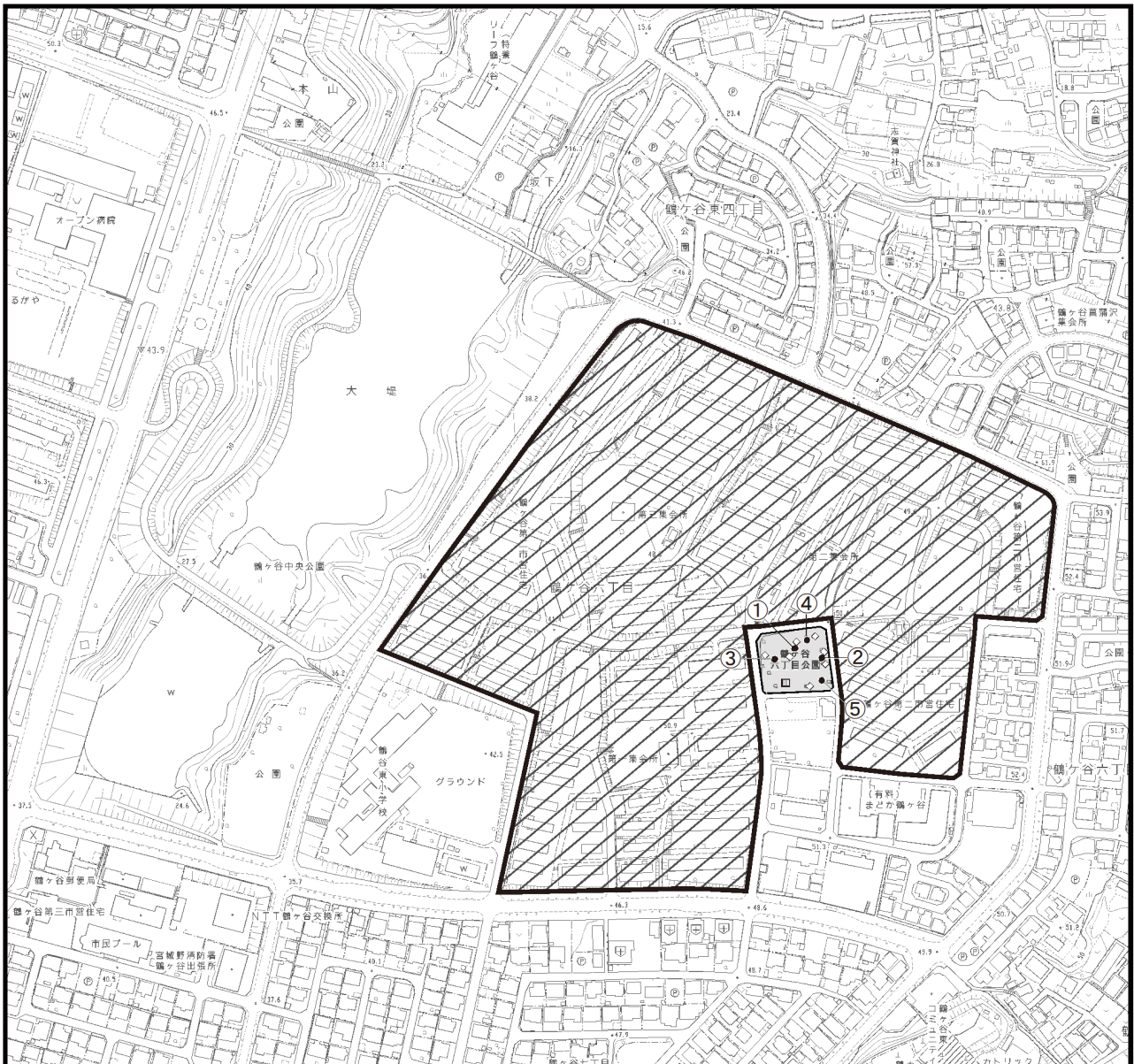


遊具(鉄棒)



藤棚

写真 8.7-2 触れ合いの場の状況(鶴ヶ谷六丁目公園)



凡 例




-  : 計画地
-  : 調査地点 (鶴ヶ谷六丁目公園)
- : 主な施設
 - ①水飲み場
 - ②遊具 (複合遊具)
 - ③遊具 (すべり台)
 - ④遊具 (ブランコ)
 - ⑤遊具 (鉄棒)
- ◇ : ベンチ
-  : 藤棚

図 8.7-3 触れ合いの場の分布(鶴ヶ谷六丁目公園)

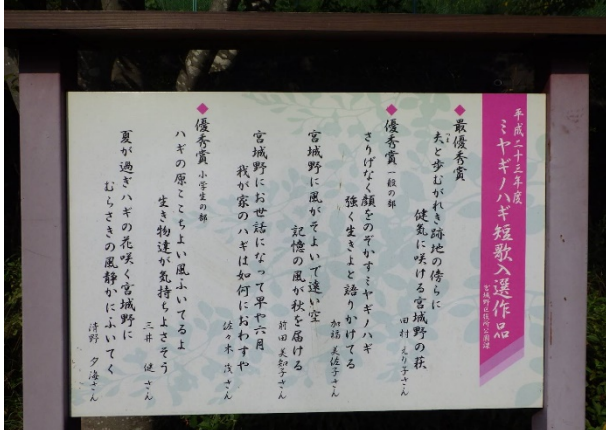


S=1:5,000
0 100 200m

c) 鶴ヶ谷東二丁目公園

鶴ヶ谷東二丁目公園は、鶴ヶ谷団地の北東部に整備された街区公園である。公園内には、ミヤギノハギ短歌入選作品を紹介している看板のほか、水飲み場とベンチが整備されており、休憩地となっている。公園の北側は下り斜面のため視界がひらけており、岩切方面を広く視認できる。

公園の縁辺には樹高3m程度の樹木が植栽されているほか、花壇には様々な花が植えられており、スズメやシジュウカラ等の小鳥やアキアカネ等のトンボ類が見られる。



看板 (ミヤギノハギ短歌入選作品)



水飲み場



ベンチ



花壇

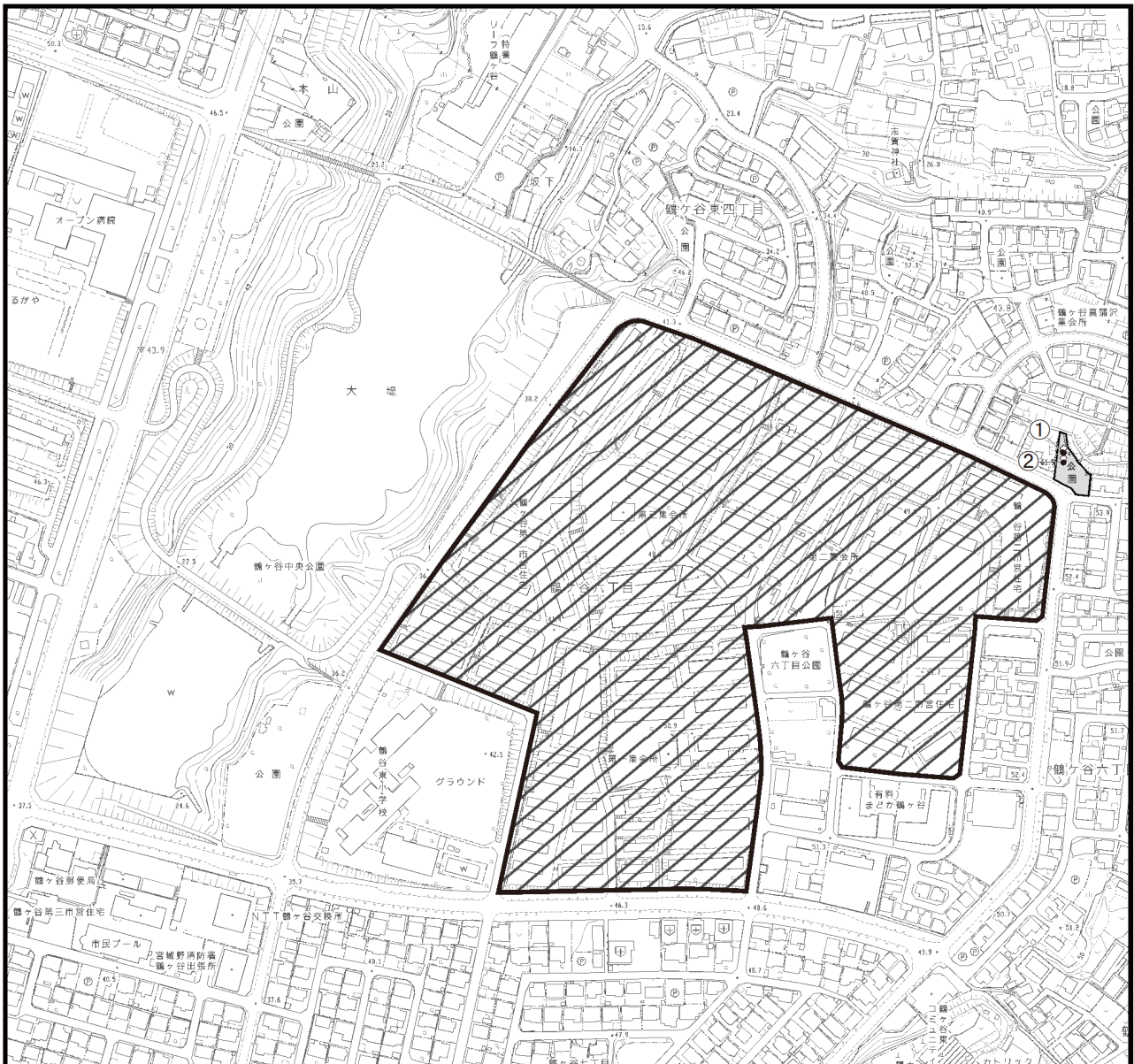


紅葉した桜の木



公園からの眺望 (東北東方向)

写真 8.7-3 触れ合いの場の状況 (鶴ヶ谷東二丁目公園)



凡 例



-  : 計画地
-  : 調査地点 (鶴ヶ谷東二丁目公園)
- : 主な施設 ①看板 (ミヤギノハギ短歌入選作品)
②水飲み場
- ◇ : ベンチ

図 8.7-4 触れ合いの場の分布
(鶴ヶ谷東二丁目公園)



S=1:5,000
0 100 200m

利用状況

a) 鶴ヶ谷中央公園

鶴ヶ谷中央公園における利用状況の現地調査結果は、表 8.7-6 に示すとおりである。

利用者数は、夏季 90 名、秋季 142 名、冬季 119 名、春季 137 名であった。

利用者の属性は、大人が夏季で約 7 割、秋季～春季で約 8～9 割と大半を占めていた。

利用内容は、朝や夕方を中心に園路の散策やジョギング、犬の散歩、ベンチでの休憩が多く、午後になると、遊具で遊ぶ家族や広場で遊ぶ子供の姿が見られた。また、溜池では釣りを楽しむ人が多く確認され、水鳥に餌をやる人も見られた。その他、自転車やバイクで園路を通過する人や鳥の写真を撮る人、秋季には南東エリアの広場でゲートボールを楽しむ人々などが見られた。主な利用場所は溜池周辺であり、散策や休憩、釣りを楽しむ人が特に多く確認された。

表 8.7-6 自然との触れ合いの場の利用状況（鶴ヶ谷中央公園）

利用内容	夏季			秋季			冬季			春季			合計		
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	合計
散策・ウォーキング	18	0	18	62	0	62	42	1	43	61	6	67	183	7	190
ジョギング	4	0	4	3	0	3	0	0	0	2	3	5	9	3	12
体操・健康器具	5	0	5	5	0	5	4	0	4	6	2	8	20	2	22
犬の散歩	6	0	6	10	0	10	8	1	9	1	0	1	25	1	26
通勤・通学	0	0	0	0	0	0	3	0	3	1	0	1	4	0	4
サイクリング	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
休憩	7	4	11	12	0	12	8	0	8	10	0	10	37	4	41
遊び	0	10	10	18	0	18	0	0	0	2	7	9	20	17	37
遊具遊び	3	5	8	1	7	8	3	6	9	1	1	2	8	19	27
ボール遊び	1	4	5	0	2	2	0	0	0	0	2	2	1	8	9
餌やり	0	0	0	4	0	4	1	0	1	0	0	0	5	0	5
写真撮影	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2
釣り	12	4	16	7	0	7	28	0	28	11	0	11	58	4	62
通過（徒歩）	0	0	0	7	2	9	7	0	7	12	0	12	26	2	28
通過（自転車・原付）	4	1	5	2	0	2	6	0	6	7	2	9	19	3	22
合計	62	28	90	131	11	142	111	8	119	114	23	137	418	70	488



散策・ウォーキングする利用者（春季）



体操する利用者（冬季）



ベンチで休憩する利用者（春季）



ゲートボールを楽しむ利用者（秋季）



ため池で釣りをする利用者（夏季）



自転車で通過する利用者（春季）

写真 8.7-4 利用状況（鶴ヶ谷中央公園）

b) 鶴ヶ谷六丁目公園

鶴ヶ谷六丁目公園における利用状況の現地調査結果は、表 8.7-7 に示すとおりである。

利用者数は、夏季 5 名、秋季 28 名、冬季 11 名、春季 15 名であった。

利用者の属性は、夏季が大人のみであったが、秋季は 6 割以上、冬季は 8 割以上、春季は 4 割以上が子供であった。

利用内容は、遊具で遊ぶ子供が多く見られ、犬の散歩で通過する人や徒歩で通過する人も見られた。その他、鉄棒を利用し体操をする人が見られた。

表 8.7-7 自然との触れ合いの場の利用状況（鶴ヶ谷 6 丁目公園）

利用内容	夏季			秋季			冬季			春季			合計		
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	合計
散策・ウォーキング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジョギング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体操・健康器具	0	0	0	4	0	4	0	0	0	1	0	1	5	0	5
犬の散歩	4	0	4	2	0	2	0	0	0	1	1	2	7	1	8
通勤・通学	0	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	9	9
サイクリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休憩	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	3
遊び	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	1	1	0	10	10
遊具遊び	0	0	0	2	9	11	0	0	0	2	5	7	4	14	18
ボール遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
餌やり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通過（徒歩）	0	0	0	2	0	2	2	0	2	2	0	2	6	0	6
通過（自転車・原付）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	5	10	18	28	2	9	11	8	7	15	25	34	59



体操する利用者（秋季）



体操する利用者（春季）



下校中に通過する利用者（冬季）



ベンチで休憩する利用者（春季）



遊具で遊ぶ利用者（春季）



落ちている枝で遊ぶ利用者（秋季）

写真 8.7-5 利用状況（鶴ヶ谷六丁目公園）

c) 鶴ヶ谷東二丁目公園

鶴ヶ谷東二丁目公園における利用状況の現地調査結果は、表 8.7-8 に示すとおりである。

利用者数は、夏季 15 名、秋季 36 名、冬季 20 名、春季 16 名であった。

利用者の属性は、夏季及び春季が大人のみであったが、秋季及び冬季は 3 割程度が子供であった。

利用内容は、鶴ヶ谷東三丁目や鶴ヶ谷六丁目方面への通過が多く、体操をする人やベンチで休憩する人、朝夕の学生の登下校や犬の散歩が多く見られた。夏季には水を飲む人等も見られた。

表 8.7-8 自然との触れ合いの場の利用状況（鶴ヶ谷東二丁目公園）

利用内容	夏季			秋季			冬季			春季			合計		
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	合計
散策・ウォーキング	0	0	0	2	0	2	4	0	4	0	0	0	6	0	6
ジョギング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体操・健康器具	3	0	3	2	0	2	6	0	6	1	0	1	12	0	12
犬の散歩	3	0	3	2	0	2	2	2	4	1	0	1	8	2	10
通勤・通学	0	0	0	0	13	13	0	4	4	0	0	0	0	17	17
サイクリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休憩	9	0	9	11	0	11	0	0	0	6	0	6	26	0	26
遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遊具遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボール遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
餌やり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通過（徒歩）	0	0	0	6	0	6	2	0	2	8	0	8	16	0	16
通過（自転車・原付）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	0	15	23	13	36	14	6	20	16	0	16	68	19	87



散策中に景色を眺める利用者（夏季）



体操する利用者（春季）



体操する利用者（冬季）



登校中に通過する利用者（秋季）



ベンチで休憩する利用者（春季）



徒歩で通過する利用者（春季）

写真 8.7-6 利用状況（鶴ヶ谷東二丁目公園）